社協だよりは「赤い羽根共同募金」の助成金で作成しています。
編集・発行／社会福祉法人おいらせ町社会福祉協議会

じぶんの町を良くするしくみ。
赤い羽根共同募金

いきいき

令和3年1月27日
第30号

12/15（火）いきいき館で「身障いきいきサロン」が開催されました。
クリスマスはもうすぐ！ということで、毛糸で作ったぽんぽんリースの作成をしました。
みなさん上手に作れたかな？

ぽんぽんリース
完成品

おいらせ町社協
ホームページ
QRコード

赤い羽根共同募金

～令和２年度実績報告～　R3.1.15 現在

令和２年１０月１日から始まった「赤い羽根共同募金」運動は、皆様からのご協力により沢山の募金が寄せられました。

頂いたご寄付は、青森県共同募金会へ集約されたのち、自分たちの住んでいる市町村にある福祉施設や福祉団体、社会福祉協議会などで地域福祉推進のための活動資金として活用されます。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年のような募金活動が出来ませんでしたが、ご協力頂いた皆様には心から感謝し、ご報告いたします。

≪おいらせ町でこれまでに集められた募金額≫

3，185，345円

※令和３年１月１５日現在の数字

～令和２年度赤い羽根共同募金　募金額内訳表　※令和３年１月１５日現在～

区分	寄付世帯数・件数	寄付金額	合計の内訳(割合)
●戸別募金	5，952　世帯	2，579，725　円	81．0　％
●法人募金	53　件	345，430　円	10．8　％
●学校募金	14　件	109，776　円	3．4　％
●職域募金	8　件	30，570　円	1．0　％
●街頭募金	0　日間	0　円	0　％
●その他募金	25　件	92，094　円	2．9　％
●県共募直送	1　件	27，750　円	0．9　％
【合計】		**3，185，345　円**	
【目標額】		3，500，000　円	
【目標達成率】		91．0　％	

街頭募金について・・・

毎年、町内の下田中学校・木ノ下中学校・百石中学校の生徒さんに募金ボランティアとしてお手伝いしていただき、イオンモール下田にて街頭募金を行っていましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施することができませんでした。

「不要なマスクを、役立てマスク」プロジェクト

６月１日～９月３０日の期間で、イオンモール下田といきいき館（社協）に「マスクお届けＢＯＸ」を設置させていただき、皆様から寄付頂いたマスクの集計結果をご報告いたします。

集計日	ＢＯＸ設置場所	手作りマスク	政府配布マスク	洗えるマスク	不織布等マスク	その他	計（枚）
6/22	イオンモール下田	78	96	19	229	13	435
6/23	いきいき館	378	18		10		406
7/14	イオンモール下田	63	100	50	142	5	360
7/15	いきいき館	1	20	12	77		110
9/3	イオンモール下田	91	70	3	89		253
9/4	いきいき館	101	35		2		138
9/30	イオンモール下田	2	4	53			59
9/30	いきいき館	15	20	36	55		126
集計枚数		**729**	**363**	**173**	**604**	**18**	**1,887**

寄付頂いたマスクは、ひとり暮らし高齢者いきいきサロンや身障いきいきサロンの参加者や、町内で活動している老人クラブ会員や年末見守り事業でおせち弁当配達と一緒に配布したり、社協へ生活福祉資金の貸し付け相談で来所された方など、約５２３枚を配布いたしました。

まだまだ、新型コロナウイルス感染症は拡大し続けております。皆様もできる範囲での感染症予防に努めましょう。

ご協力ありがとうございました。

咳エチケット

新型コロナウイルス感染症を含む**感染症対策の基本は「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」**です。

マスクを着用する際には、鼻の部分に隙間が出来ないようノーズワイヤーで調整しましょう。

来年度も新型コロナウイルス感染症に気をつけて・・・・

いきいきサロンを開催するための留意点

通いの場を開催するために、**「３つの密（密閉、密集、密接）」を避ける、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗い」**が大切です。

～ 感染拡大を防ぐためのポイント ～

≪開催前≫

★　**自分自身の健康管理にも十分配慮する**ようにしましょう。

★　参加者の体温や体調の確認を行い、**参加者名簿を作成し、記録する**ようにしましょう。
※発熱などが認められる場合には、参加を断りましょう。

★　参加者には、**「毎日体温の計測をする」「症状がなくてもマスクを着用する」「水と石けんで丁寧に手洗いをする」ように呼びかけ**ましょう。

★　社会福祉協議会へチラシの作成をお願いするなど、**参加者の呼びかけ**を行うことも大切です。

≪開催中≫

★　複数の人が触れる手すり、ドアノブ、テーブル、椅子などは、適宜、**塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム０．０５％）やアルコールなどで消毒**を行いましょう。

★　室内で開催する場合は、**１時間に２回以上の換気**を行いましょう。

★　参加者同士の間隔は、**互いが手を伸ばしたら届く距離以上**空けましょう。

★　会話をするときは、**正面に立たない**よう注意を促しましょう。

★　ホワイトボードや録音、マイクなどを活用して、**大きな声を出す機会を減らす**工夫をしましょう。

～ 体操など身体を動かす活動をする場合 ～

★　マスクを着けて運動をする場合は、身体への負荷が著しく大きくなりやすいため、**無理のないよう負荷を減らし、休憩を取るなどの配慮**をしましょう。
※公園などの屋外で人と十分な距離（２m以上）を確保できる場合は、マスクをはずしましょう。

★　夏場は熱中症予防のため、**こまめな水分補給や室温調整をする**よう気をつけましょう。

～ 飲食を伴う活動をする場合 ～

★　座席の配置は、対面にならないよう工夫し、距離を取るよう調整しましょう。

★　会食等では、個別に配膳し、お菓子等は個包装のものを用意しましょう。

★　食器やコップ、箸などは使い捨てにするなど工夫しましょう。

通いの場の再開チェックリスト

東京都健康長寿医療センター研究所　社会参加と地域保健研究チーム制作

再開する前に

- □ 通いの場の目的を確認する（見直す）。
- □ 通いの場の開催方法を確認する（見直す）。
- □ スタッフ同士のコミュニケーションを強化する。
- □ 通いの場に来てた人達の足を遠ざけない。
- □ 新しい参加者や協力者を得るチャンスに変える。
- □ 他の通いの場と連携するチャンスに変える。
- □ 地域の理解を得ながら再開する。
- □ 自治体等の専門機関・専門職と連携する。

いよいよ再開する

●広報（チラシ等）に盛り込む内容

- □ 参加費は、おつりの必要が無いよう呼びかける。
- □ 具体的な内容と安全策をほどこしていることを説明する。
- □ 参加者多数の場合には入場を制限・断る場合があることを明示する。
- □ 気になることがある場合の問い合わせ先を表示する。
- □ ソーシャルディスタンスがとれる人数にすることを表示する。
- □ 可能な場合には、事前予約制にし、参加者の把握する。
- □ マスクの着用、体調が悪い人は参加しないことを表示する。
- □ 備え付けの上履きがある場でも、上履き持参を呼びかける。

●当日の材料や備品の準備

- □ 消毒しにくい形状の物は使用しない。
- □ マスクや手袋、消毒剤などを十分準備する。
- □ 伝えるべきルールについてわかりやすい掲示物を作成する。
- □ 使い捨ての物品（紙コップなど）を使用する。
- □ 道具や材料は共有しないように、個別に用意する。
- □ 食事やお菓子は個装された物を用意する。

●プログラムの準備

- □ 屋外や建物のテラスで開催出来ないか検討する。
- □ ソーシャルディスタンスが保てる内容を企画する。
- □ 歌を歌ったり、息が荒くなるプログラムは控えるようにする。
- □ 再開後しばらくは時間を短くした内容を実施する。
- □ 参加できない人のため、オンラインで参加できるか検討する。
- □ 大声で指示せず、マイクかポスター・ボードで説明する。
- □ 会場の大きさにあった適正人数に限定した内容にする。
- □ 固定したスタッフ・メンバーで運営するよう検討する。
- □ 見学や視察・取材は電話またはオンラインで対応する。

●スタッフのトレーニングと危機管理

- □ 衛生管理面で注意すべき点、備品の使用方法を学習する。
- □ 開催日に確認する項目をリストアップする。
- □ 特に人が密集、接触しやすい内容や時間帯の対応を話し合う。
- □ 体調不良者が出た場合の休息場所や付添い者を決める。
- □ 体調不良者が出た場合の連絡、指示体制、流れを確認する。

開催日

●会場の準備

- □ 使用開始前にしっかり清掃と消毒、換気をする。
- □ チェック項目の確認と、消毒をする箇所に目印をつける。
- □ 衛生備品を使う度に、人が移動する必要がないよう十分な数を配備する。
- □ 椅子は可能な限り２mの間隔を保ち、不要な資材は出さない。
- □ 子どもがいる場合には、子ども用の除菌剤などを用意する。
- □ テレビのリモコン、本などいろいろな人が触る物品は置かない。

●受付

- □ 参加者が一度に入場しないよう、スタッフが整理をする。
- □ 入室時刻、検温を記録し、体調（咳、倦怠感など）を聞く。
- □ 参加費は直接箱などに入れてもらい、後日消毒する。
- □ 本人に名簿の記入はしてもらわず、スタッフが記入する。
- □ 荷物置き場を決め、荷物同士が接触しないようにする。
- □ 杖、車いす、ベビーカーなど他者が触れないように置く。
- □ ドアや手すりは、スタッフが随時消毒する。
- □ マスクを持参していない場合は、マスクを支給する。
- □ 入口に衛生管理に関する注意書きなどを掲示する。
- □ 参加人数が多いと感じる場合、お帰り頂くなどの対応をする。

●プログラム開始時

- □ 開始時に、まずは参加者の最近の体調や様子を尋ねてみる。
- □ ルールは、具体的な物を示して説明したり、やって見せる。
- □ 以前なかった換気機材などがある場合には、注意をうながす。
- □ ソーシャルディスタンスの距離を、参加者同士で確認する。
- □ 体調がすぐれない時の対応を説明し、担当者を紹介する。

●プログラム中

- □ 手洗いを促し、ソーシャルディスタンスの確認をする。
- □ 参加者をグループに分け、グループ間の移動や接触を減らす。
- □ 会場の出入り口、トイレなども定期的に消毒する。
- □ 途中で、窓を開けたり、扇風機などで換気する。
- □ 飲食物は、トレイにて持ち運びをし、参加者に手渡ししない。

●プログラム終了時

- □ プログラムの感想や不安な点はなかったかなどを聞く。
- □ 一斉に参加者が帰らないよう、時間をずらして退出させる。
- □ 個人が消費した飲食物のゴミは、各自持ち帰りとする。

●プログラム終了後

- □ 会場の清掃を行い、消毒する。
- □ 反省会を行い、問題点などを話し合い、次回の改善につなげる。
- □ スタッフ同士で、お互いにねぎらい、心のケアをする。
- □ 参加者の肯定的な声は全員で共有する。
- □ その日の参加者数、課題などを、専門職などにも報告する。

サロン活動をする際、上記のようなチェックリストを活用してみてください。

身障サロンと独居サロンを開催

令和２年１２月１５日（火）に第３回身障いきいきサロンを開催しました。

翌週はクリスマスということで、毛糸のぽんぽんリースをみんなで作成しました。細かい作業もありましたが、みなさん上手にリースを作ることができました。

その後、レクリエーションゲームとして、ラダーゲッターで身体を動かし楽しい一日を過ごしました。

令和２年１２月２２日（火）に第３回下田地区ひとり暮らし高齢者いきいきサロンを開催しました。

始めにビンゴゲームをしたのち、会食交流会を行いました。今回は、デザートとして一足早いクリスマスケーキをご用意しました。

また、食後の軽レクリエーションとして、ペタンク交流会を行い、みなさん楽しい一日を過ごしました。

２０２０ おいらせ町老連主催 “元気を願う”集い

令和２年１２月１６日（水）、１７日（木）にきざん三沢にて、おいらせ町老連主催“元気を願う”集いを開催しました。

毎年恒例の年忘れ交流会でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、２回に分けての開催とし、会場に入る際には検温と手指消毒を行い、マスクの着用をお願いし、席の間隔を空けるなどの対策をしての実施となりました。

今回は、県の消費生活センターと青森大学の学生さんによる「消費者トラブルや詐欺に遭わないために」と題してご講演いただき、学生さんには寸劇を披露して、分かりやすく詐欺について教えてくださいました。

雪の降る中、２日間に渡ってご講演いただきましてありがとうございました。

社協デイサービスセンターはこんなところ♪

おいらせ町社会福祉協議会では、介護保険事業を行っております。

事業は、通所介護事業所（デイサービスセンター）と居宅介護支援事業所（ケアマネージャー）を行っております。

通所介護（デイサービス）は、利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、自宅にこもりきりの利用者の孤立感の解消や心身機能の維持、家族の介護の負担軽減などを目的として実施しております。

利用者は、自宅からの送迎を行い、食事や入浴などの日常生活上の支援や、生活機能向上のための機能訓練などを日帰りで行います。また、高齢者同士でのレクリエーションで交流を図り、夏祭りやクリスマスなどの行事を楽しんでおります。

通常のデイサービスでは、介護認定（要介護１～５）を受けた方を対象として行っておりますが、要支援１～２の認定となった方は下記に示しているミニデイサービスを利用できます。

「詳しい話を聞きたい」「介護の事でちょっと相談したいことがある」など下記の連絡先までお気軽にお電話ください。

一日の流れ

利用者送迎
↓
健康チェック
↓
入浴
↓
軽トレ、機能訓練
↓
昼食
↓
お昼寝、マッサージ
↓
レクリエーション
↓
おやつ
↓
利用者送迎

～ミニデイサービス（緩和型）の流れ～

毎週水曜日は短時間利用のデイサービスとなります。

通常のデイサービスと同じように送迎をし、健康チェックをしたのち、集団体操や個人に合わせた運動をします。入浴は希望者のみ行います。入浴しない方は手作業をして手指の運動を行っています。

昼食後はコーヒーなどお茶飲みしながら皆さんとの会話を楽しんでいます。その後は脳トレなどレクリエーションなどをしています。

男女別の浴室です

社協デイサービスセンター
社協居宅介護支援事業所（ケアマネ）
（TEL・FAX兼）0178－52－8440
お気軽にご相談ください。

※尚、ヘルパーステーションは、令和3年3月31日で事業終了となります。

お知らせ

社協だよりは「赤い羽根共同募金」の助成金で作成しております。

社協会費納入の御礼

（令和２年 12 月 31 日現在）

5，262世帯（昨年度5，109世帯）

今年度も、各町内会長をはじめとした皆様のご理解とご協力により会費を納入頂きまして、厚く御礼申し上げます。

皆様から頂いた会費は、子どもから高齢者まで様々な方を対象とした福祉活動への活動資金として活用されます。

必要とされる身近な福祉活動の推進と継続のため、これからもご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

社会福祉大会の中止

令和３年２月６日（土）に開催予定としておりました「第１５回おいらせ町社会福祉大会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたことをお知らせいたします。

社会福祉大会において表彰予定の方々には、後日、表彰状と記念品をお届けに伺わせていただきます。

ご理解とご協力の程宜しくお願いいたします。

北向春枝さん　青森県伝統工芸士に認定

令和２年 12 月 22 日に県庁において、県伝統工芸士に県内の７名が認定された。

その中の一人がおいらせ町社会福祉協議会で行っている、ほがらか教室のひしざしの会の講師をしている北向春枝さんです。

北向さんは平成２年から会に入会、平成 15 年からは講師としてご指導いただいております。

※ほがらか教室のお問い合わせは下記まで
（TEL）0178-52-7066　担当：澤頭

北向春枝さん（前列中央）

皆様からの御寄付ありがとうございます。

皆様からの御寄付は、福祉事業等へ大切に使わせていただきます。ありがとうございました。

（R2.1.18～R3.1.15 現在）※敬称略

- 小向　憲次　・・・10,000 円
- 濤岡　ナホ　・・・50,000 円
- 山﨑　斉　・・・2,000 円
- 福田　妙子　・・・300,000 円
- 匿名希望２件　・・・101,066 円
- 青森県火災共済・・・車椅子１台

県火災共済様から車椅子寄贈頂きました